

令和5年度 井上綾乃保育ゼミ通信 4

令和5年12月13日
和光市 保育センター

11月6日に行われた、第4回 井上綾乃保育ゼミは「安全・安心を深く学ぶ『ウチ向きモード・ヨソ向きモード』」をテーマに子どもと社会のつながりについて学びました。

保育園の中での 社会性を考えよう

あいさつを
する

抱っこされて
笑う

朝の会に
参加する

時間になったら
片づける

おもちゃの
貸し借りを
する

友だちの
片づけを手伝う

ゼミではこのような意見が出ました。
皆さんも考えてみてくださいね！

社会力、自尊心、自己調整力が自立を支える

社会の中での自立

憧れている時に
社会性が育つ！



集団の中で自尊心を感じる
友だちの素敵なおところを認め、憧れる



家庭養育が安定

自立が困難

自尊心の低下

他人を責める事で自分を守る

家庭養育が不安定

子どもと社会のつながり

③社会



①家庭



大人が要求を叶え、安定した関わりをする事で、子どもの存在が肯定される
= 家族の安心

②保育園で過ごす、

保護者と一緒に買い物など安心を感じながらのコミュニティ。親密な人の社会でのふるまいを
見ることで、社会へ出る練習となっている。



ウチ向きモード…信頼できる大人がいるため、ノンバーバルコミュニケーション(動作、表情などで一方的な表出をする)
ヨソ向きモード…子どもが自己調整し、相手に伝わるように表出している

「家では片付けをしないけれど、保育園では片付ける」
「家では甘えん坊だけれど、保育園ではリーダー的」など、
子どもは自然と切り替えている。

- ウチ向きモードとヨソ向きモードの差が大きすぎる場合には、能力以上にがんばりすぎている可能性もあるので注意する。
- ウチ向きモードとヨソ向きモードが上手く切り替わらないのであれば、保育園を家庭の役割に近づける。
- 子どもが生活しやすい環境を作るために土台となる保護者ごと支える。道しるべを示す。
- 学んだ知識をシェアする。「微力だけど、無力ではない」

保育者が
できることは？